

サービス付き高齢者向け住宅



メビウスまほろばデイサービスセンター (まほろば学園)



授業スタイルのレクリエーションが人気！
楽しみながら脳活、コミュニケーション



「今日、シャボン玉をします」と、まずは普通のシャボン玉。あちこちでシャボン玉ができては壊れていく。

「キーンコソソソ」カソソソソソ。懐かしい音色のチャイムで授業が始まった。1時限目は国語。先生(スタッフ輪番制)が「さあ、今日の国語は、四字熟語問題」と、早速ホワイトボードへ「悪戦」の2字が記される。すかさず「悪戦苦闘！」と声が飛ぶ。「では、どういう意味でしょうか、○○さん」と先生の指名を受け、生徒(利用者さん)が「苦しみながらも頑張ること」と答える。「はい、正解です。では、次」と、「攫千金」「一念発起」など次々と問題を解いていく。

続いては、「脳トレプリントですよ」と、野菜や果物の読み方。難問が多い中、「山葵」「蚕豆」「玉蜀黍」などは、すらすらと読む人が多い中、「石柏」「芽花椰菜」「甘蕉」は苦戦。頭をぼかぼかたたきながら「出て来い！」と頑張る人や、「むずかしい！」と頑張る人や、「むずかしいなあ。高齢者を悪戦苦闘させないで」と前出の四字熟語で先生に抗議する人も。トイレ休憩を挟み、2時限目は「理科」。白衣を着て科学の先生然としたスタッフが現われ、「今日は、シャボン玉をします」と、まずは普通のシャボン玉。あちこちでシャボン玉ができては壊れていく。

夏オープンしたサービス付き高齢者向け住宅「メビウスまほろば」のデイサービスセンター「まほろば学園」。1日2時限、「国語」「算数」「理科」「社会」「体育」「音楽」「工作」など、授業スタイルのレクリエーションが好評だと聞き、授業参観させてもらった。



学園長 小谷 浩平さん

身体機能と共に、「考える」能力を引き出し、「声に出して発表」することで、『脳の活性化』をめざしています。繰り返しの中でできるようになる喜びを得、向上心や学びの意欲が、自宅でも家族との会話など、日々の生活に活力を持たせることにつながっています。



脳活のほかに、個別や小集団での機能訓練も行われている。



「冷たい!!」

ニール袋に入れて、「皆さんで力を合わせてごろごろしてください」「手が冷たい!!」「疲れた」と言いながらも全班でアイス完成。スプーンを口に運びながら全員大満足の笑み♪



「水の温度下げるには?」「塩!」。正解です」と、科学的な説明の後、各テーブルで、牛乳と缶みかんをシール袋に入れ、それを氷一杯のビ

「あ、不思議?!」と皆で挑戦する。ひとしきり遊んだ後、「皆さん、ここでおやつのアイスクリームを作りたいと思います。15分で。」え、ムリムリ! 冷凍庫でも一晩かかるわあ」と生徒。(中略)



そこで先生、「シャボン玉でお手玉しますよ」と秘密の液体を注ぎ、膨らませたシャボン玉を、軍手をはめた手でふわりふわりとお手玉。「あら

緑地公園併設、奈良県総合医療センター、ならコープが至近距離に!



▲まほろば学園スタッフの皆さん 常時は、学園長+スタッフ6人体制で20人の生徒さんを担当

近鉄西ノ京駅から徒歩5分、「六条山」下車すぐ

サービス付き高齢者向け住宅

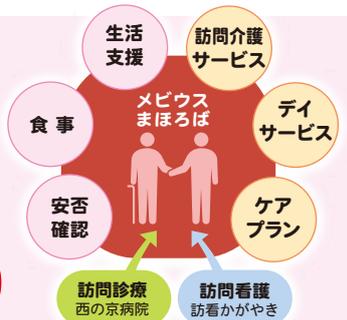
メビウスまほろば デイサービスセンター (まほろば学園)

☎0742-81-7828

〒奈良市六条西4-6-20



見学・体験
随時受付



西の京病院が
全面的にバックアップ!